

人権について考える ～人権週間の取組～

本校では、12月10日の「世界人権デー」を含む12月2日～12月13日を入権週間に位置付け、人権を取り上げた道徳の授業実践や、「めぐみ（北朝鮮による拉致問題）」「栗生の園に生きた証（ハンセン病の問題）」等の視聴、人権標語の作成、人権学習講演会の実施等、人権集中学習を行っています。この人権集中学習を通して、人権に関する基礎的な内容や生命を尊重することについて理解を深めるとともに、自分の大切さや他の人の大切さを認め合いながら、身近な人権問題を解決しようとする能力や態度を身に付けることを目的としています。

《人権学習講演会① ～ 幸せになるための経済学 ～》

2年生から5年生を対象とした講演会は、人権週間に先だって11月20日に行われました。慶應義塾大学経済学部の藤田康範教授を講師に招き、経済学から考える人権について講演していただきました。藤田教授は、「人権とは、人が幸せに生きる権利」ととらえ、幸せに生きるにはどうすればよいかを経済学からの視点で具体的な事例をもとに講演していただきました。まとめとして、「問題を解決し、幸せに生き、人権を行使するにはイノベーションと感動の設計が必要」「大事なことはみんなに楽しんでもらうこと。お金儲けではない」というメッセージをいただきました。生徒から「人権は自分から求めなくてはいけないことが分かりました」「チャンスを生かしたり、自分の権利を守ったり、新しいアイデアを生み出すために勉強することが大切であることが分かりました」などの感想が出されていました。



《人権学習講演会② ～ 障害 偏見が壁に ～》

1年生を対象とした講演会は、12月6日に行いました。DET群馬代表の飯島邦敏代表をはじめ、4人のファンリテーターと2名のサポーターを講師に招き、「DET研修（障害平等研修）」を行いました。DETとは、Disability Equality Trainingの頭文字で、社会にある障害、差別、偏見をなくし、障害者を含むすべての人々が暮らしやすい共生社会の実現に向けて、こころのバリアフリーを目指す研修です。生徒たちはグループになり「障害とは何か」を話し合い、イラストやビデオを通して障害に対する認識を改め、自分にできることを考えました。生徒から「障害への考え方が変わりました」「本当の障害は私たちになるのでは？と思うと、すぐに行動して社会を変えなければならないと思いました」などの感想が出されていました。



《「ぶどうの木」との共同販売企画》

本校の生徒会の生徒たちが、伊勢崎市内にある指定障害者福祉サービス事業所「ぶどうの木」と連絡を取り合い、ぶどうの木の利用者や職員がつくる商品の校内販売を企画しました。2学年ずつ、3日間に分けて人権週間の昼休みの時間に、パン売り場の横で実施しました。販売活動というやりとりを通して、心の交流させる貴重な機会となりました。エントランスホールでは、特別ゲストの森村大地さんがサクソ演奏を披露してくれました。



◆三者面談 お世話になります◆

来週12月17日（火）～23日（月）に全ての学年で三者面談が行われます（17日は6年生のみ）。面談では、学習への取組等について話題にさせていただきます。お忙しい中かとは存じますが、よろしくお願いたします。なお、待機場所が廊下となります。大変冷え込みますので寒さ対策をお願いいたします。